



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 穴井 公之

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	214,095	3.2	29,745	12.3	28,329	5.7	19,998	0.3
2019年3月期第3四半期	207,528	12.6	26,493	68.1	26,789	61.2	20,049	58.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 17,759百万円 (3.6%) 2019年3月期第3四半期 18,422百万円 (1.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	158.53	158.13
2019年3月期第3四半期	162.07	157.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	348,546	216,840	62.1	1,723.50
2019年3月期	328,861	205,953	62.5	1,609.72

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 216,304百万円 2019年3月期 205,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		11.00	21.00
2020年3月期		11.00			
2020年3月期(予想)				15.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	5.7	38,000	7.8	37,000	7.7	25,000	5.5	195.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	130,218,481 株	2019年3月期	130,218,481 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,715,128 株	2019年3月期	2,555,996 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	126,150,221 株	2019年3月期3Q	123,708,335 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
3. 補足情報	8
(1) 製品別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、アジアや欧州で弱さがみられるものの世界経済全体として緩やかな回復が続きました。先行きについては、通商問題の動向、中国経済の先行き、為替動向などに留意が必要ですが、引き続き緩やかな回復が期待されます。

当社グループは、研究開発力や生産技術の強みを活かした最先端商品および高信頼性商品に加え、コア技術を活かしたソリューションビジネスを軸に、自動車、情報インフラ、産業機器、ヘルスケア、環境・エネルギーなどの注力市場を攻略することにより、中期目標の達成および経営ビジョンの実現を目指しています。また、収益性の向上や将来の部品需要の増加に応える体制を構築するため、ものづくり力の強化を進めています。生産能力の増強に加え、要素技術の高度化と生産工法の変革を進めることで、生産効率の向上を加速していきます。

電子化・電装化が進行する自動車向け、通信システムの高度化やIoTの進展に伴い高性能が進む基地局通信装置・データセンタなどの情報インフラ向けでは、大型・高耐圧・高信頼の部品需要が増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,140億95百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は297億45百万円(前年同期比12.3%増)となりました。経常利益は、為替差損9億96百万円などにより283億29百万円(前年同期比5.7%増)となりました。また、2019年10月に発生した台風19号の影響で浸水被害が発生した子会社の福島太陽誘電株式会社にかかる災害による損失など特別損失43億60百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は199億98百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル108.90円と前年同期の平均為替レートである1米ドル110.44円と比べ1.54円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、情報機器向け、通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しました。その結果、売上高は1,327億19百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

[フェライト及び応用製品]

巻線インダクタ、積層チップインダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、民生機器向け、情報機器向け、通信機器向け、情報インフラ・産業機器向けなどの売上が前年同期比で減少しました。その結果、売上高は296億80百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

[複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMIN™(イオミン)」、関係会社における実装事業などが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)などの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は385億82百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

[その他]

アルミニウム電解コンデンサ、エネルギーデバイスなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、子会社のエルナー株式会社(前期の第2四半期連結会計期間より計上)のアルミニウム電解コンデンサなどが加わり、131億14百万円(前年同期比25.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して196億85百万円増加しました。そのうち流動資産は64億23百万円増加しており、主な要因は、受取手形及び売掛金の増加76億89百万円、仕掛品の増加28億92百万円、現金及び預金の減少49億27百万円であります。また、固定資産は132億61百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加142億99百万円であります。

負債は87億98百万円増加しました。主な要因は、その他流動負債の増加64億26百万円、長期借入金の増加63億43百万円、短期借入金の減少29億52百万円、賞与引当金の減少22億70百万円であります。

純資産は108億86百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,430	51,503
受取手形及び売掛金	62,745	70,434
商品及び製品	21,065	19,291
仕掛品	25,907	28,800
原材料及び貯蔵品	13,974	14,326
その他	5,972	8,210
貸倒引当金	△238	△284
流動資産合計	185,858	192,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,768	96,851
機械装置及び運搬具	263,270	273,361
工具、器具及び備品	26,089	27,409
土地	11,022	10,970
建設仮勘定	10,468	20,095
減価償却累計額	△280,102	△288,871
有形固定資産合計	125,517	139,816
無形固定資産		
のれん	5,837	5,364
その他	1,219	1,266
無形固定資産合計	7,056	6,630
投資その他の資産		
投資有価証券	4,760	4,043
その他	6,001	6,102
貸倒引当金	△332	△328
投資その他の資産合計	10,428	9,816
固定資産合計	143,003	156,264
資産合計	328,861	348,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,031	26,914
短期借入金	23,152	20,200
1年内返済予定の長期借入金	2,477	2,663
未払法人税等	5,085	3,311
賞与引当金	4,167	1,897
役員賞与引当金	258	241
その他	21,825	28,251
流動負債合計	81,997	83,479
固定負債		
長期借入金	28,415	34,759
役員退職慰労引当金	132	52
退職給付に係る負債	3,742	3,934
その他	8,619	9,481
固定負債合計	40,910	48,226
負債合計	122,907	131,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,575	33,575
資本剰余金	49,904	49,903
利益剰余金	135,217	152,242
自己株式	△4,613	△8,594
株主資本合計	214,083	227,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,519	1,438
繰延ヘッジ損益	2	△26
為替換算調整勘定	△9,703	△11,865
退職給付に係る調整累計額	△401	△369
その他の包括利益累計額合計	△8,583	△10,822
新株予約権	453	535
純資産合計	205,953	216,840
負債純資産合計	328,861	348,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	207,528	214,095
売上原価	146,085	147,804
売上総利益	61,443	66,291
販売費及び一般管理費	34,950	36,545
営業利益	26,493	29,745
営業外収益		
受取利息	306	271
受取配当金	141	145
為替差益	436	-
助成金収入	382	94
その他	200	112
営業外収益合計	1,466	623
営業外費用		
支払利息	261	263
持分法による投資損失	478	480
為替差損	-	996
株式交付費	144	-
休止固定資産減価償却費	132	177
その他	153	122
営業外費用合計	1,170	2,039
経常利益	26,789	28,329
特別利益		
固定資産売却益	13	146
投資有価証券売却益	37	16
段階取得に係る差益	249	-
受取保険金	-	※ 1,005
特別利益合計	299	1,168
特別損失		
固定資産除売却損	247	452
減損損失	75	76
災害による損失	-	※ 3,371
投資有価証券評価損	52	17
事業構造改善費用	1,978	-
独占禁止法関連損失	502	426
その他	27	15
特別損失合計	2,882	4,360
税金等調整前四半期純利益	24,206	25,137
法人税、住民税及び事業税	4,657	4,020
法人税等調整額	△500	1,118
法人税等合計	4,156	5,139
四半期純利益	20,049	19,998
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,049	19,998

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	20,049	19,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△542	△80
繰延ヘッジ損益	66	△28
為替換算調整勘定	△1,144	△2,161
退職給付に係る調整額	△6	31
その他の包括利益合計	△1,626	△2,239
四半期包括利益	18,422	17,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,422	17,759

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用する在外子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて資産及び負債を計上しております。また、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 災害による損失及び受取保険金

2019年10月に発生した台風19号の影響により、当社子会社の福島太陽誘電株式会社（福島県伊達市）において被害が発生し、その災害による損失額を「災害による損失」として計上しております。

また、災害発生に伴う損害保険金を「受取保険金」として計上しております。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	127,531	61.5	132,719	62.0	5,187	4.1
フェライト及び応用製品	32,364	15.6	29,680	13.9	△2,683	△8.3
複合デバイス	37,152	17.9	38,582	18.0	1,429	3.8
その他	10,480	5.1	13,114	6.1	2,633	25.1
合計	207,528	100.0	214,095	100.0	6,566	3.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

上場会社名 : 太陽誘電株式会社
 コード番号 : 6976 (東証 第一部)
 代表者 : 代表取締役社長 登坂 正一
 問合せ窓口 : 経営企画本部 経理部
 TEL (03-6757-8310)

2020年3月期 第3四半期決算概要

(百万円未満切捨て)

[業績の概要]

科目	期別	前第3四半期 (2018.4.1~2018.12.31)		当第3四半期 (2019.4.1~2019.12.31)		増減	
		金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高		207,528	100.0	214,095	100.0	6,566	3.2
営業利益		26,493	12.8	29,745	13.9	3,251	12.3
経常利益		26,789	12.9	28,329	13.2	1,540	5.7
税引前当期純利益		24,206	11.7	25,137	11.7	930	3.8
親会社株主に帰属する当期純利益		20,049	9.7	19,998	9.3	△51	△0.3
包括利益		18,422	-	17,759	-	△663	△3.6

1株当たり当期純利益	162.07 円	158.53 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	157.57 円	158.13 円

研究開発費	9,795 百万円	9,626 百万円	△168百万円	△1.7%
設備投資額	30,572 百万円	24,677 百万円	△5,895百万円	△19.2%
減価償却費	19,353 百万円	19,632 百万円	279百万円	1.4%

(注) 百分比は売上高比であります。

科目	前連結会計年度末 (2019.3.31)	当第3四半期 (2019.12.31)	増減	
			金額	増減率(%)
総資産	328,861 百万円	348,546 百万円	19,685百万円	6.0
純資産	205,953 百万円	216,840 百万円	10,886百万円	5.3
自己資本比率	62.5 %	62.1 %	△0.4ポイント	-
1株当たり純資産	1,609.72 円	1,723.50 円	113.78 円	7.1

[製品別売上高]

製品区分	前第3四半期 (2018.4.1~2018.12.31)		当第3四半期 (2019.4.1~2019.12.31)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	127,531	61.5	132,719	62.0	5,187	4.1
フェライト及び応用製品	32,364	15.6	29,680	13.9	△2,683	△8.3
複合デバイス	37,152	17.9	38,582	18.0	1,429	3.8
その他	10,480	5.1	13,114	6.1	2,633	25.1
合計	207,528	100.0	214,095	100.0	6,566	3.2

TAIYO YUDEN